

# 佐賀県の道路2024

## ROAD OF SAGA PREF.2024



一般国道204号唐房バイパス開通（唐津市）（令和5年11月12日）

（愛称）ルート・グランブルー〜ジャック・マイヨールが愛した海〜

Copyright© 2024 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

# 佐賀県の概要

佐賀県は、県土面積2,441km<sup>2</sup>、人口807千人で、20市町（10市10町）からなり、佐賀市をはじめとして、唐津市や鳥栖市等、小さな都市が点在する分散型県土を形成しています。地理的には九州の北西部に位置し、東は福岡県、西は長崎県に接しており、北は荒海で知られる玄界灘、南は穏やかで干満差の大きな有明海に面しています。

本県の地勢は、東北部の天山～脊振山塊地帯、西部ないし西南部の丘陵地帯および南部を占める佐賀平野の3つの区分に大別できます。

また、可住地面積は県土面積の約55%と全国的にもその割合が大きく、古くから九州の農耕地帯として栄えてきた佐賀平野を中心として広大な平地を有しています。そのため、通勤、通学を中心に多くの県民が自転車を利用しています。

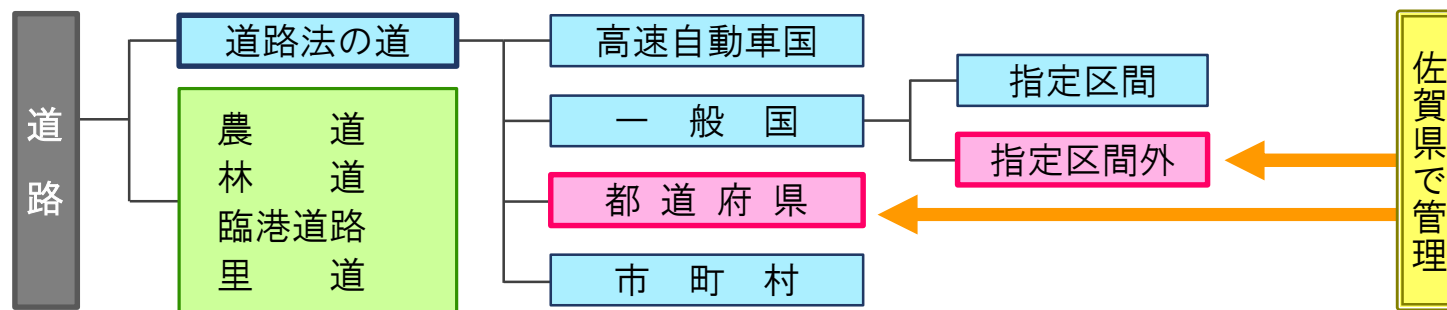
さらに、朝鮮半島までは200kmほどの距離にあり、地理的にはもちろん、吉野ヶ里歴史公園や名古屋城跡等、歴史的側面からもアジアとの接点は多く、現在でも交流が盛んです。



有明海沿岸道路（六角川大橋）

# 道路とは

一般に道路とは、一般公衆の通行の用に供せられる道全般のことをいいますが、その中でも道路法上の道路である「高速自動車国道」「一般国道」「都道府県道」「市町村道」のうち、県は道路管理者として「一般国道」の指定区間外区間および「県道」を管理しています。ちなみに、道路法の道路以外には農道、林道、臨港道路、里道、私道等の道路があり、道路法とは別の法律によって整備や管理が行われています。



# 道路の機能

道路には次のような機能があります。

- 人や車の交通や物流を担う交通機能
- 火災の延焼を防いだり、避難救援活動の場となる防災機能
- 電気やガスなどの公共公益施設の収容空間としての機能
- 沿道の開発を促進させる土地利活用誘導機能

また、この他にも都市内の採光や風通を確保し、植樹帯の緑が潤いある景観を形成するなど、良好な生活環境を保つだけでなく、イベントやふれあいの場としても利用されるなど、極めて多面的な機能を有しています。



主要地方道佐賀停車場線（佐賀市）

# 道路とは

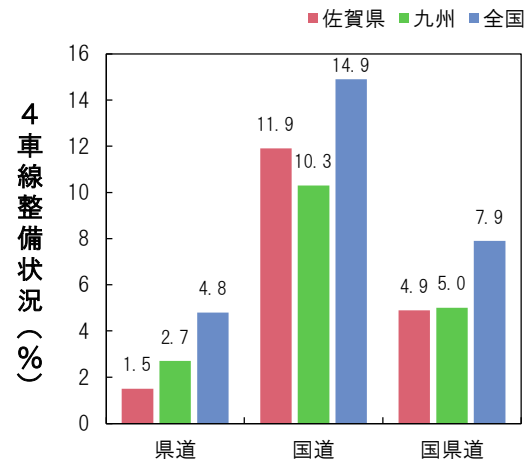
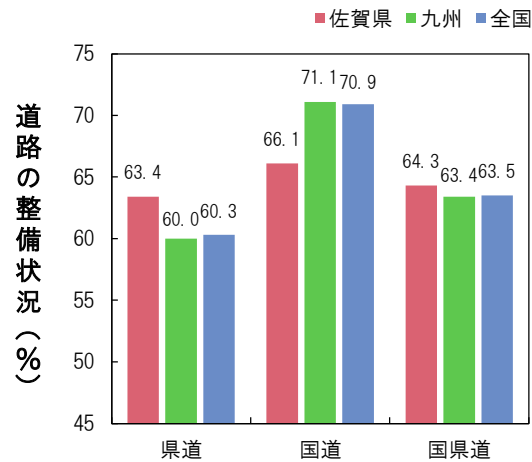
R4.4.1現在

道路種別	路線数	実延長	改良済		舗装済		橋梁		トンネル		歩道設置 道路延長 (km)
			延長(km)	率(%)	延長(km)	率(%)	箇所数	延長(km)	箇所数	延長(km)	
高速道路自動車道	2	81.7	81.7	100.0	81.7	100.0	75	11.9	8	6.7	—
一般国道	18	628.3	619.9	98.7	628.3	100.0	1,392	39.9	22	10.2	459.1
指定区間	7	239.4	239.4	100.0	239.4	100.0	585	20.8	13	5.0	172.2
指定区間外	12	388.9	380.5	97.8	388.9	100.0	807	19.1	9	5.2	286.9
県道	180	1,270.6	930.1	73.2	1,270.6	100.0	1,675	25.7	10	3.8	661.2
主要地方道	43	547.5	451.1	82.4	547.5	100.0	838	12.0	9	3.5	342.9
一般県道	137	723.0	479.0	66.3	723.0	100.0	837	13.7	1	0.2	318.3
市町村道	19,662	9,083.3	6,463.3	71.2	8,762.9	96.5	9,081	80.1	8	1.3	806.6
総合計	19,862	11,063.8	8,095.0	73.2	10,743.5	97.1	12,223	157.6	48	22.0	1,926.9

- 注：1）県道以上は5.5m以上で改良済。市町村道は、5.5m未満も改良済に含む。
- 2）舗装は簡易舗装を含む。
- 3）一般国道の指定区間と指定区間外の路線数は、1路線重複している。
- 4）道路公社管理分含む。
- 5）延長は四捨五入としている。

# 道路の整備状況

佐賀県の道路の整備率は全国平均と同程度ですが、4車線整備率は全国平均を大きく下回っている状況にあり、今後とも整備の促進が必要です。



※出典：国土交通省「2022道路統計年報」  
(九州に沖縄県を含む)

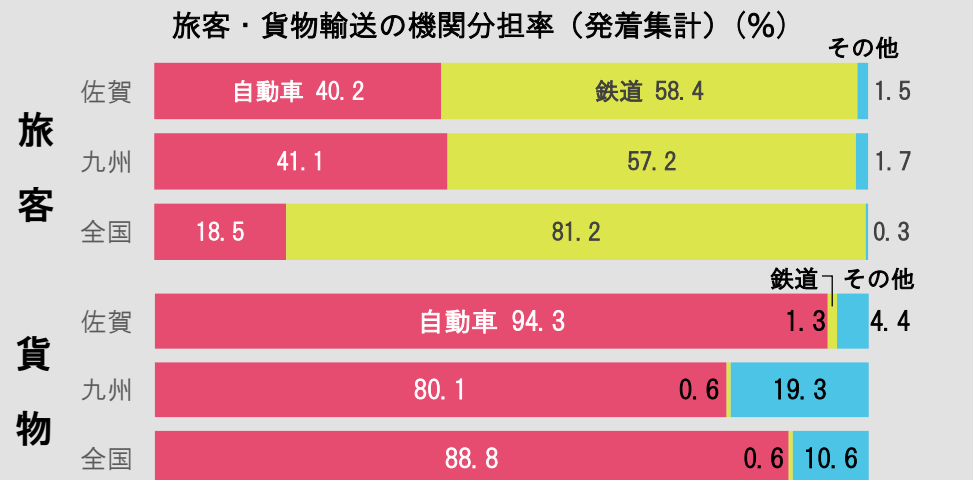
# 道路と生活

佐賀県では、自動車の面積当たり、人口当たり、1世帯当たりの保有台数は九州、全国の平均を大きく上回っています。

また、旅客の40.2%が自動車を使って移動し、貨物の94.3%が自動車によって運ばれています。従って、自動車への依存度が高く、日常生活や産業を道路が支えているといえます。

	自動車保有台数 (千台)	面積当たり保有台数 (台/km <sup>2</sup> )	人口当たり保有台数 (台/人)	1世帯当たり保有台数 (台/世帯)
佐賀県	696	285.3	0.86	2.03
九州	11,085	249.0	0.78	1.61
全国	83,045	219.7	0.66	1.38

※面積(R5.10.1) : 国土地理院  
自動車保有台数(R5.11末) : 財自動車検査登録情報協会  
人口、世帯数(R5.1.1) : 住民基本台帳  
(九州に沖縄県を含まない)



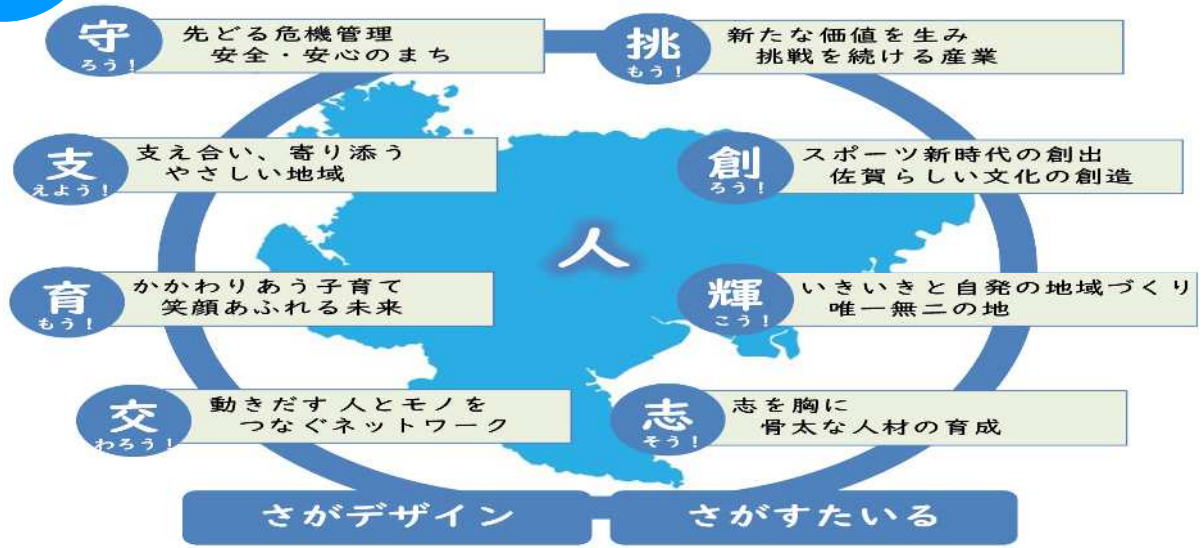
※自動車は自家用旅客自動車(登録自動車、軽自動車)を除く  
※その他：船舶、航空  
出典：九州運輸局「九州運輸要覧 令和4年度版」  
(九州に沖縄県を含まない)

# 佐賀県施策方針2023

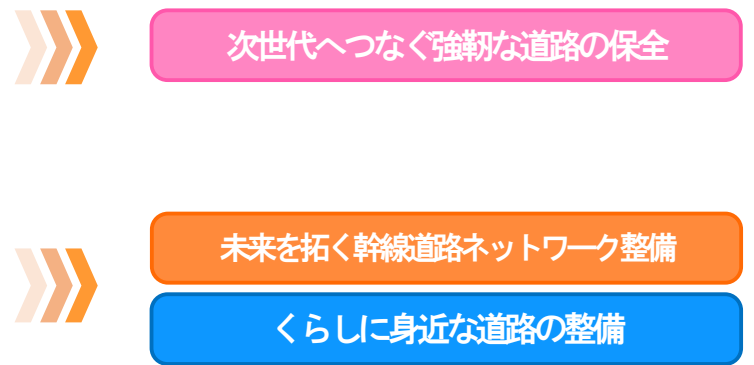


## 基本理念

### 人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり



施策体系	<b>守</b> ろう!	先どる危機管理 安全・安心のまち (施策分野) 防災・減災・県土保全、くらしの安全・安心、医療、環境
	<b>支</b> えよう!	支え合い、寄り添う やさしい地域 (施策分野) 福祉、健康、人権・共生・さがすたいる
	<b>育</b> もう!	かかわりあう子育て 笑顔あふれる未来 (施策分野) 子育て
	<b>交</b> わろう!	動きだす 人とモノを つなぐネットワーク (施策分野) 交通
	<b>挑</b> もう!	新たな価値を生み 挑戦を続ける産業 (施策分野) 雇用・労働、農業、林業、水産業、企業立地・商工業、エネルギー、流通
	<b>創</b> ろう!	スポーツ新時代の創出 佐賀らしい文化の創造 (施策分野) スポーツ、文化
	<b>輝</b> こう!	いきいきと自発の地域づくり 唯一無二の地 (施策分野) 地域づくり、国際化、観光、情報発信、県民協働
	<b>志</b> そう!	志を胸に 骨太な人材の育成 (施策分野) 教育、生涯学習



道路整備に関する施策

# 佐賀県の道路整備方針～佐賀県施策方針2023～

## 未来を拓く幹線道路ネットワーク

### ■広域幹線道路の整備

#### ○取組方針

広域幹線道路ネットワークの整備に重点をおいて取り組めます。特に、有明海沿岸道路と佐賀唐津道路が接続するエリア「Tゾーン」の整備を重点的に取り組めます。



#### ○対象路線

(東西軸)有明海沿岸道路、西九州自動車道  
(南北軸)佐賀唐津道路、国道498号



## くらしに身近な道路の整備

### ■県管理道路の整備

#### ○取組方針

渋滞の緩和や道路利用者の安全・安心で快適な道路環境の整備に取り組めます。

### ■通学路における歩道整備

#### ○取組方針

誰もが安心・快適に移動できるよう歩道や自転車通行空間等の整備に取り組めます。特に、通学路の合同点検における要対策箇所を重点的に整備します。

### ■歩道のユニバーサルデザイン化

#### ○取組方針

歩道の段差のスロープ化や視覚障害者用誘導ブロックの設置など、ユニバーサルデザインを考慮した歩道整備に取り組めます。



## 次世代へつなぐ強靱な道路の保全

### ■長寿命化修繕計画に基づく維持修繕

#### ○取組方針

長寿命化計画に基づいた計画的な維持管理を行います。また、地震による落橋を防止するため橋梁の耐震化に取り組めます。

### ■道路施設の防災対策

#### ○取組方針

施設点検の結果を踏まえ、要対策箇所の防災対策を進めます。特に、災害時に人員や物資の輸送を担う緊急輸送道路の対策について優先的に取り組めます。



### ■路面下空洞の対策

#### ○取組方針

緊急輸送道路のうち交通量の多い路線や埋設物が多い都市部などを優先的に調査し、陥没事故の未然防止に取り組めます。

# 規格の高い道路の整備

佐賀県の道路整備の重点項目として掲げる「広域幹線道路ネットワークの整備」を進めるうえで重要なものとして、高規格幹線道路、地域高規格道路があります。これら高速交通ネットワークの整備により、時間短縮や定時性の向上が図られ、地域資源を生かした産業の立地や活発な経済活動が促進されることで、地域の飛躍が期待されます。

## 高規格幹線道路

高規格幹線道路は、自動車の高速交通の確保を図るために必要な道路で、全国的な自動車交通ネットワークを構成する自動車専用道路をいいます。高規格幹線道路が整備されることにより、時間・距離の短縮や交通ネットワークの信頼性の向上が図られます。さらに、他の地域との連携や交流も促進され、地域振興に大きく貢献することが期待されます。

佐賀県内には、高規格幹線道路として九州縦貫自動車道鹿児島線、九州横断自動車道長崎大分線および西九州自動車道の3路線があります。

西九州自動車道は、隣接する福岡県・長崎県を結ぶ県北の東西軸となり、県北部地域における経済成長が期待されます。



西九州自動車道 伊万里道路  
(仮)伊万里中央IC橋下部工事 (R5.10)



西九州自動車道 伊万里松浦道路 供用中  
(佐代川橋付近から長崎県境を望む)

### 高規格幹線道路

<佐賀県> 約130km  
<全国> 約14,000km

### 高速自動車国道

(国土開発幹線自動車道等)

<佐賀県> 約82km  
<全国> 約11,520km

### 一般国道の自動車専用道路

(建設大臣の指定に基づく高規格幹線道路)

<佐賀県> 約49km  
<全国> 約2,480km

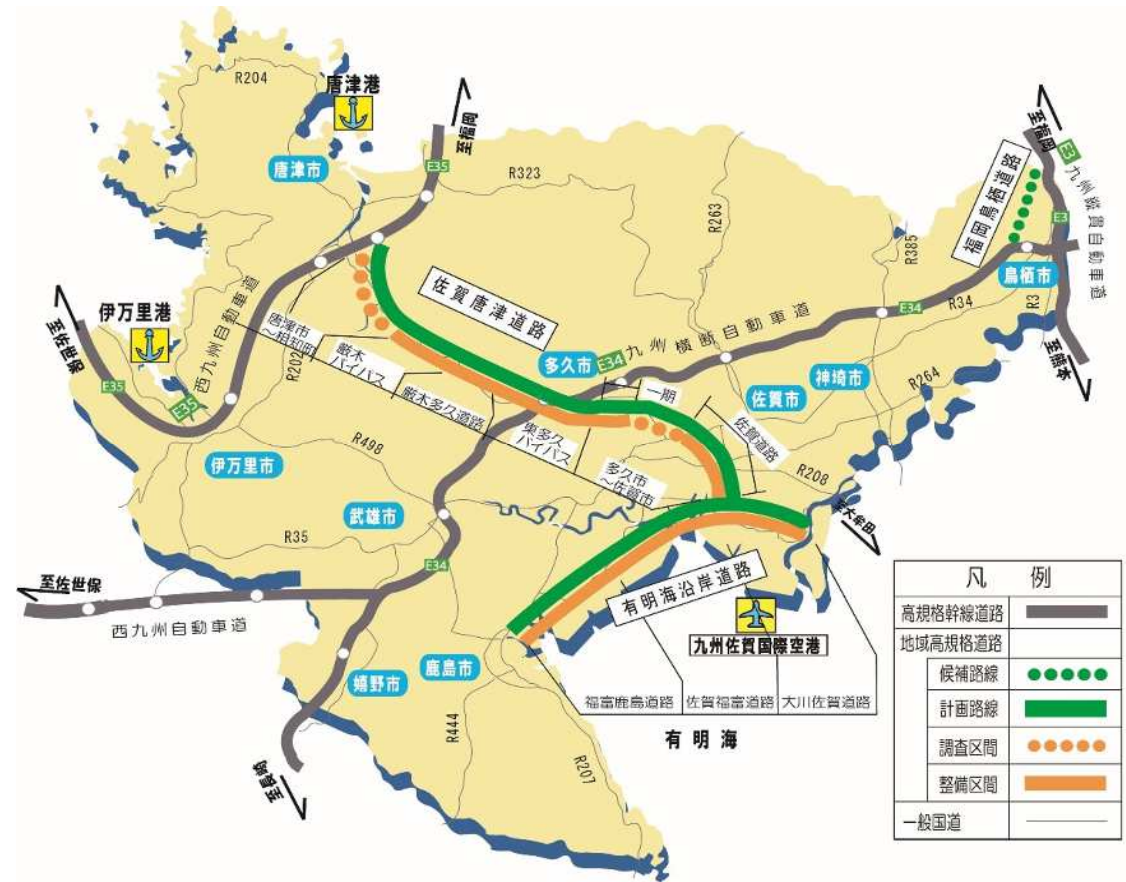
- ・九州縦貫自動車道 鹿児島線
- ・九州横断自動車道 長崎大分線

- ・西九州自動車道  
武雄佐世保道路 (供用中)  
唐津道路 (供用中)  
唐津伊万里道路 (供用中)  
伊万里道路 (事業中)  
伊万里松浦道路 (事業中)

## 地域高規格道路

地域高規格道路は、地域の自立という観点から、高規格幹線道路ネットワークと連携して、広域的な地域の連携による「地方集積圏」の形成、集積圏相互の交流促進、交通拠点との連携を図るもので、2車線以上の自動車専用道路、または、これと同程度の機能を有し、概ね60km/h以上で走行できる質の高い道路です。

現在、佐賀県内において有明海沿岸道路は県南の東西軸として、佐賀唐津道路は県央の南北軸として、地域間の連携強化、交流促進による地域振興のため重点的に進めています。



○佐賀県の地域高規格道路指定一覧

路線名	路線の指定		区間の指定		起点	終点	概略延長(km)
	候補路線	計画路線	調査区間	整備区間			
有明海沿岸道路	H6.12	H6.12			大牟田市新港町	杵島郡白石町深浦	約55
大川佐賀道路			H8.8	H12.12	大川市大字大野島	佐賀市嘉瀬町	約10
佐賀福富道路			H9.9	H12.12	佐賀市嘉瀬町	杵島郡白石町福富	約10
福富鹿島道路			H9.9	H17.3	杵島郡白石町福富	杵島郡白石町深浦	約9
佐賀唐津道路	H6.12	H6.12			唐津市	佐賀市嘉瀬町	約40
唐津市～相知町			H7.8		唐津市	唐津市相知町	約10
多久市～佐賀市			H10.12		多久市東多久町	佐賀市嘉瀬町	約14
多久佐賀道路 (I期)			H10.12	H15.9	多久市東多久町	小城市三日月町	約5
佐賀道路			H10.12	H28.4	佐賀市鍋島町	佐賀市嘉瀬町	約4
厳木バイパス 厳木多久道路 東多久バイパス				H7.4	唐津市相知町	多久市北多久町	11
福岡鳥栖道路	H6.12				春日市	鳥栖市	—

- 注：1) 候補路線：地域高規格道路として整備を進めることの妥当性・緊急性等について検討を進める路線。
- 2) 計画路線：地域高規格道路として整備を進めたいため、基礎的なデータの収集、路線全体の整備計画の検討を進める路線。
- 3) 調査区間：計画路線のうち、ルート選定、整備手法、都市計画、環境影響評価等の調査を進める区間。
- 4) 整備区間：計画路線のうち、事業着手に向けて、都市計画決定手続、環境影響評価手続、予備設計等を進める区間。



# 広域幹線道路ネットワークの整備状況



凡	例
	高規格幹線道路
	地域高規格道路
	地域高規格道路 (都決済、未事業化)
	一般国道 (指定区間)
	一般国道 (指定区間外)
	主要地方道
	一般有料道路
	一般県道
	事業中区間
	調査中区間
	構想路線



① 有明海沿岸道路 (大野島IC~諸富IC)  
令和4年11月12日開通

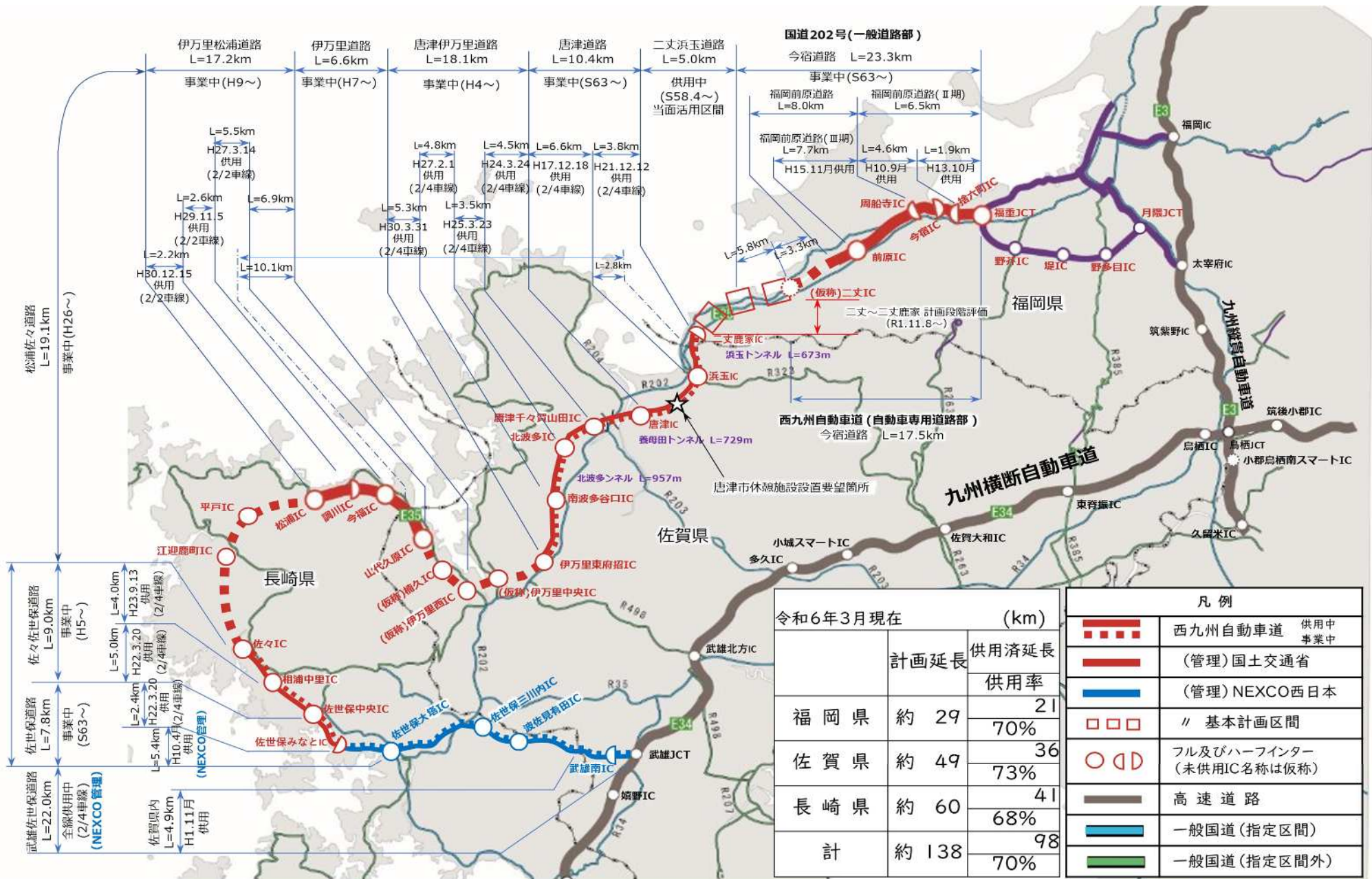


② 有明海沿岸道路 (芦刈南IC~福富IC)  
令和3年7月24日開通

## ○佐賀県内における広域幹線道路の供用状況

路線名	供用状況
<b>西九州自動車道</b>	
三条鹿家IC~唐津IC	供用中
唐津IC~伊万里東府招IC	供用中
伊万里東府招IC~(仮)伊万里西IC	事業中
(仮)伊万里西IC~山代久原IC	事業中
山代久原IC~今福IC	供用中
<b>有明海沿岸道路</b>	
大野島IC~諸富IC	供用中
諸富IC~(仮)佐賀JCT	事業中
(仮)佐賀JCT~嘉瀬南IC	事業中
嘉瀬南IC~芦刈南IC	供用中
芦刈南IC~福富IC	供用中
<b>佐賀唐津道路</b>	
(仮)佐賀JCT~(仮)鍋島IC	事業中
(仮)三日月IC~(仮)多久東IC	事業中
東多久バイパス	供用中
巖木多久道路	供用中
巖木バイパス	供用中
<b>一般国道498号</b>	
松浦バイパス	供用中
大埤バイパス	供用中
若木バイパス	供用中

# 西九州自動車道



令和6年3月現在		(km)	
	計画延長	供用済延長	供用率
福岡県	約 29	21	70%
佐賀県	約 49	36	73%
長崎県	約 60	41	68%
計	約 138	98	70%

凡例	
	西九州自動車道 供用中 事業中
	(管理)国土交通省
	(管理)NEXCO西日本
	// 基本計画区間
	フル及びパーーフインター (未供用IC名称は仮称)
	高速道路
	一般国道(指定区間)
	一般国道(指定区間外)

～西九州自動車道の整備により～

伊万里港と連携した物流の効率化！！

# 物流の効率化



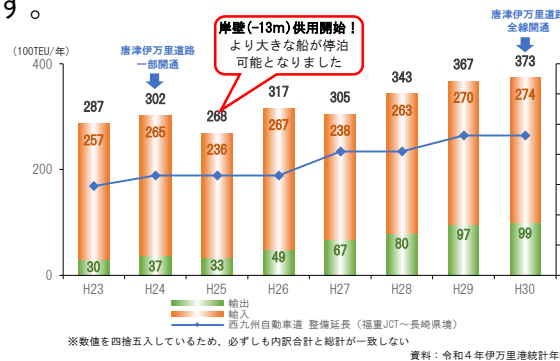
## 伊万里港との連携により物流効率化を支援

伊万里港は伊万里湾奥部に位置する天然の良港です。伊万里市では西九州自動車道の整備に併せ、伊万里港や周辺工業団地の整備を進めており、外貨コンテナ貨物の取扱量も高い水準で推移しています。今後の整備により、更なる物流の効率化による地域経済への貢献が期待されています。

伊万里港コンテナ取扱量実績（実入）



伊万里港におけるコンテナ貨物取扱の様子



資料：令和4年伊万里港統計年報

# 有明海沿岸道路

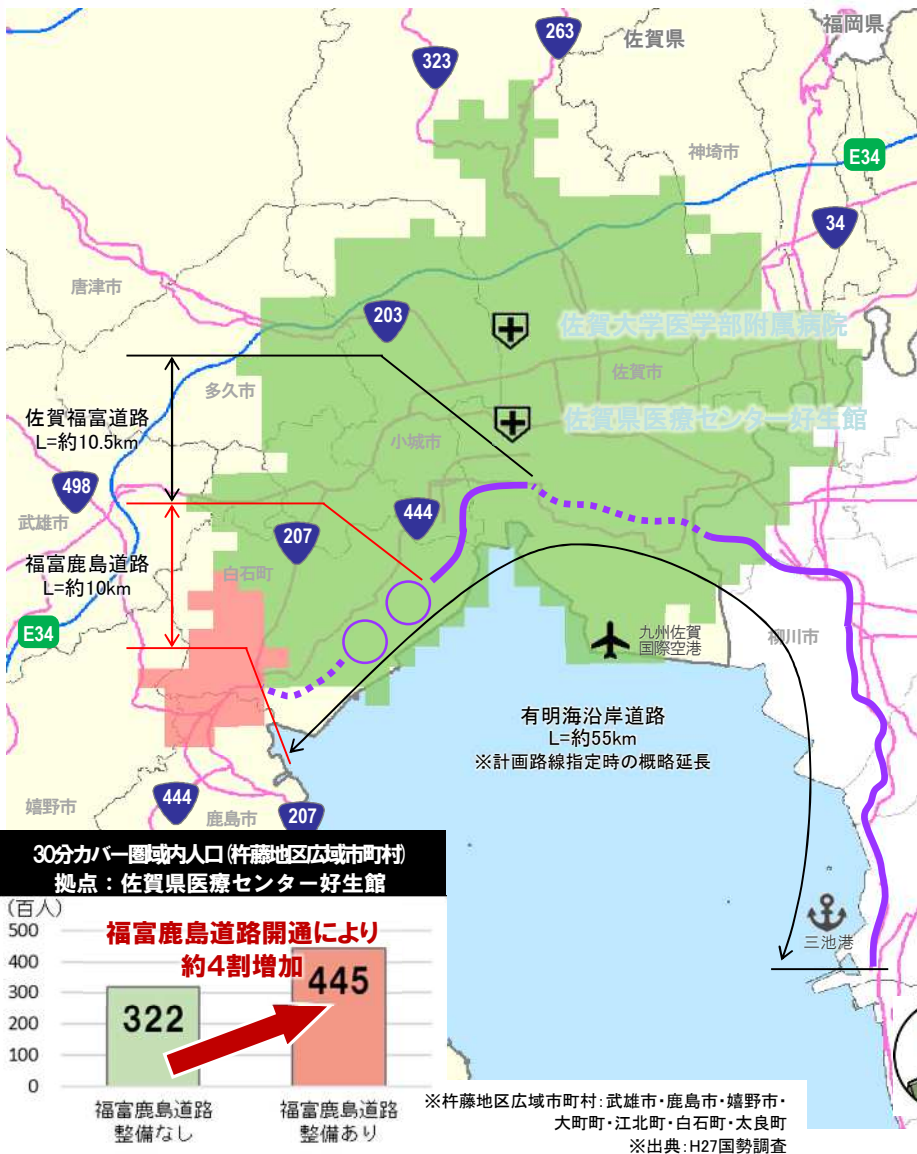


～有明海沿岸道路の整備により～

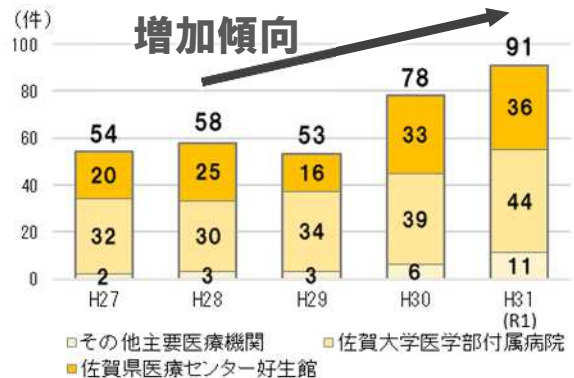
# 【医療圏拡大】搬送時間短縮による傷病者の生存率向上に貢献

- ◆ 鹿島市・太良町を出発地とする救急搬送件数は増加傾向にあり、佐賀県医療センター好生館・佐賀大学医学部附属病院への搬送が約9割を占める。
- ◆ 福富鹿島道路整備により、佐賀県医療センター好生館を拠点とする30分カバー圏域内人口が約4割増加するとともに、県南地域からの搬送時間が短縮する。

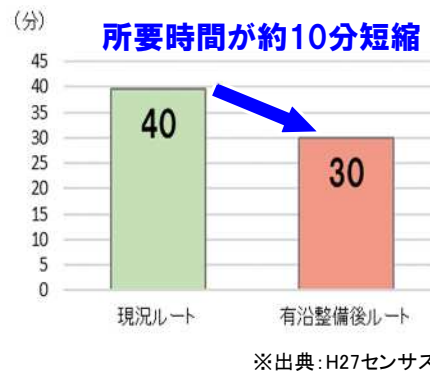
## 佐賀県医療センター好生館を拠点とする30分カバー圏域



## 鹿島市・太良町を出動先とする救急搬送件数の推移(主要搬送医療機関)



## 鹿島市～医療センター好生館の所要時間の変化



鹿島市・太良町などの県南地域から佐賀方面への搬送距離が短くなり、搬送時間が短縮されることによって、傷病者の搬送先医療機関での早期の救急処置等が可能になると思います。

出典：杵藤地区広域市町村圏組合消防本部ヒアリング

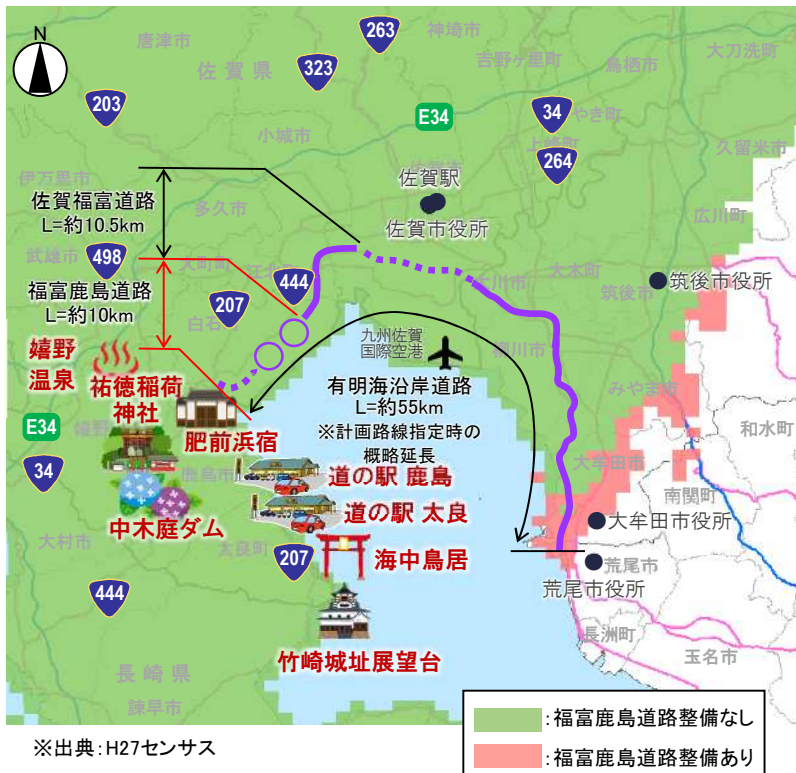
～有明海沿岸道路の整備により～

## 【観光振興】鹿島市・太良町への更なる観光客増加に期待

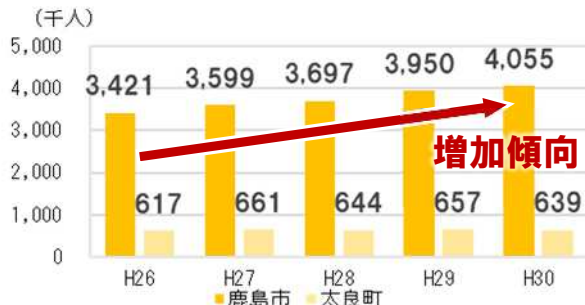
- ◆ 鹿島市・太良町には、祐徳稲荷神社や竹崎城址展望台など歴史的な観光資源が点在し、鹿島市の観光客数は近年増加傾向にある。
- ◆ 福富鹿島道路整備により、鹿島市から90分カバー圏内人口が約5割増加し、熊本・福岡方面からのアクセス性が向上するため、更なる観光客増加が期待される。



鹿島市役所を拠点とする90分カバー圏域



鹿島市・太良町の観光客数

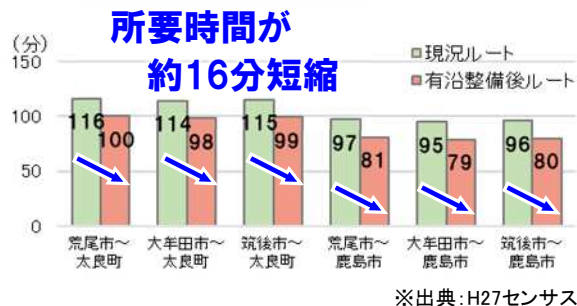


90分カバー圏域内人口  
(有沿沿線市町村)  
拠点：鹿島市役所



※有沿沿線市町村：玉名市・荒尾市・大牟田市・みやま市・大川市・柳川市 ※出典：H27国勢調査

主要各地～鹿島市・太良町の所要時間の変化



有明海沿岸道路整備が進むことで、筑後・大牟田・荒尾方面からの観光客増加を期待しています。また、太良町等との周遊観光を考えていきたいです。  
出典：鹿島市観光協会ヒアリング

太良町へ自動車でのアクセスの良さを、より一層観光プロモーションに活かしていきたい、観光客増加を期待しています。  
出典：太良町観光協会ヒアリング

# 佐賀唐津道路



～佐賀唐津道路の整備により～

# 『佐賀の二大祭り』を巡る

## 現状・実績



## 兆し・ポテンシャル

・平成12年に『二大祭り』を同時開催  
(開催時期：10月下旬～11月上旬)

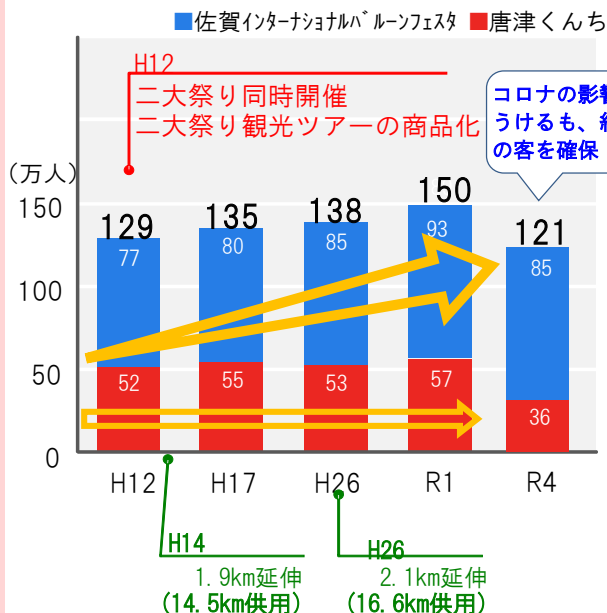
・『二大祭り』を巡る観光ツアーが商品化  
観光客数 → 佐賀インターナショナルバルーンフェスタの  
観光客数は増加傾向

唐津くんちの観光客数は伸び悩んでいたが、  
近年は増加傾向



佐賀平野を舞台に開催されるアジア最大級の国際的な競技大会2016年に熱気球世界選手権の開催！

### 二大祭りの観光客数



### ◆佐賀唐津道路の整備により

『都市間の移動時間短縮』  
『広域幹線道路ネットワークの強化  
(南北線強化)』



『三大祭り』の観光客を  
相互に呼び込み観光による  
さらなる地域振興に期待！

『二大祭り』を案内する観光ツアーを企画、商品化しており、たいへんご好評をいただいております。佐賀唐津道路の一部開通で定時性が向上しました。今後の道路の延伸には、大きな期待を寄せています。  
(旅行会社担当)



### <佐賀唐津道路の供用状況>

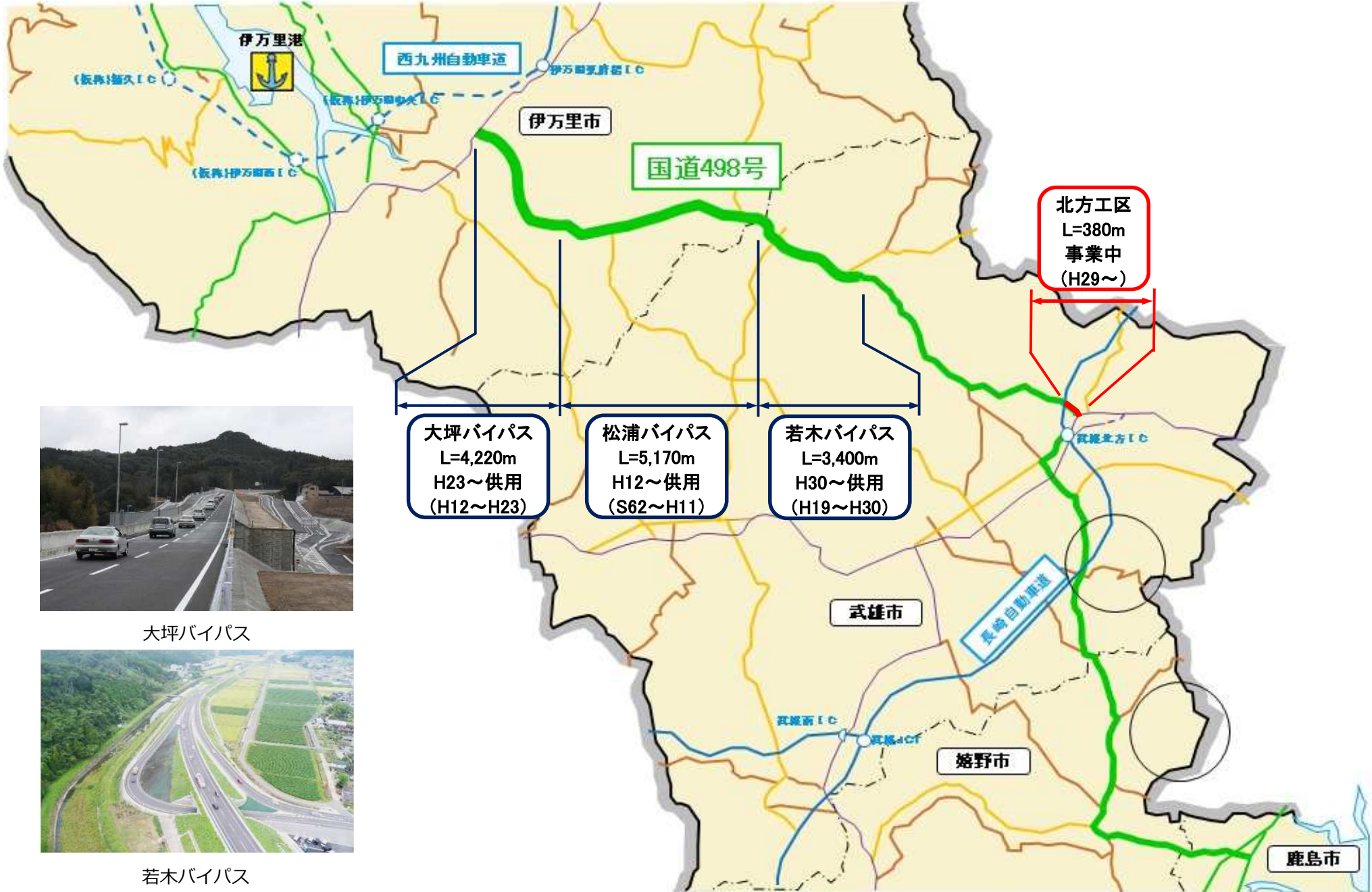
H14 1. 9km延伸 (14.5km供用)  
H26 2. 1km延伸 (16.6km供用)



国の重要無形民俗文化財に指定されている唐津神社の秋季例大祭日本三大くんちの一つ



# 一般国道498号



大坪バイパス



若木バイパス

# 佐賀県新広域道路交通計画

佐賀県新広域道路交通計画は、今後の道路整備・管理や道路交通マネジメント等の基本となるものです。「広域道路ネットワーク計画」「交通・防災拠点計画」「ICT交通マネジメント計画」から構成されます。

## ・広域道路ネットワーク計画

平常時・災害時および物流・人流の観点から踏まえた具体的な道路ネットワークを計画したものです。

## ・交通・防災拠点計画

交通拠点の整備、交流・観光拠点の整備、物流拠点の整備、防災拠点の機能強化を推進することで広域的な道路ネットワークの機能強化を図るもの。

## ・ICT交通マネジメント計画

ICTやAI、ETC2.0等のビッグデータを積極的に活用することで、道路交通の課題解消に向けた交通マネジメントの強化を図るもの。

## ➤広域道路ネットワーク

### 高規格道路

- ブロック都市圏間を連絡する道路
- ブロック都市圏内の拠点連絡や中心都市を環状に連絡する道路
- 上記以外と重要な空港・港湾を連絡する道路

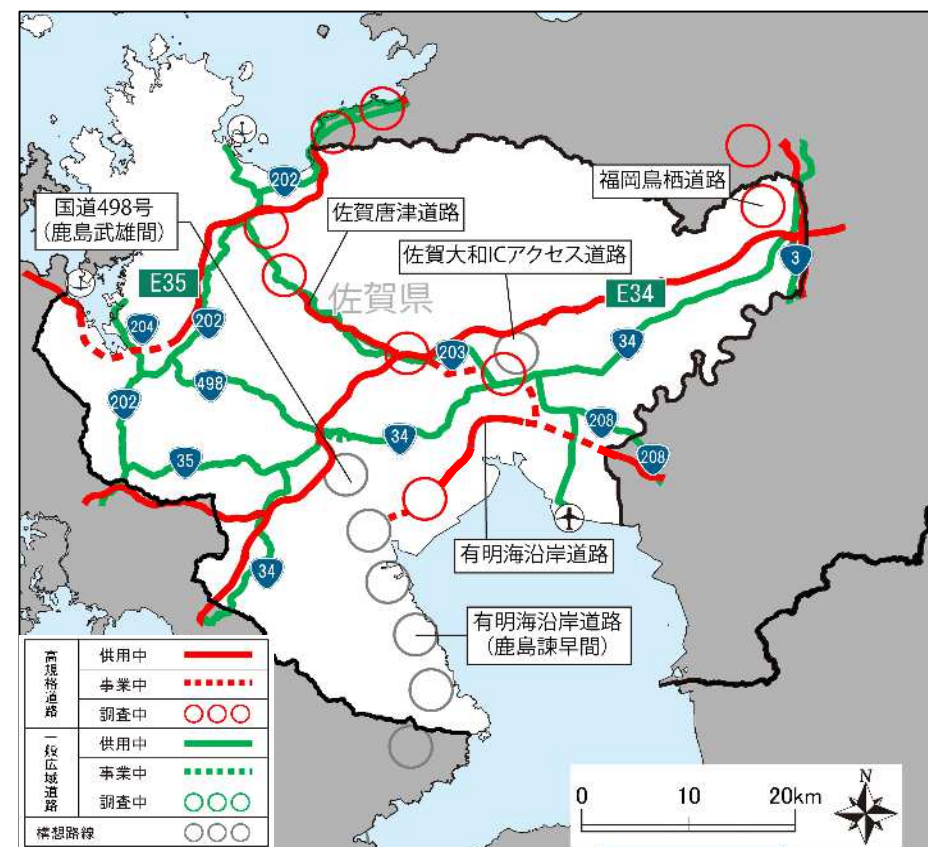
### 一般広域道路

- 広域交通の拠点となる都市を効率的かつ効果的に連絡する道路
- 高規格道路や上記道路と重要な空港・港湾等を連絡する道路

### 構想路線

- 広域道路としての役割が期待されるが、起終点が決まっていな  
い等、個別路線の調査に着手している段階にない道路

新たな広域道路ネットワーク図【佐賀県】



本計画図は、具体的な路線のルート、位置等を規定するものではありません。

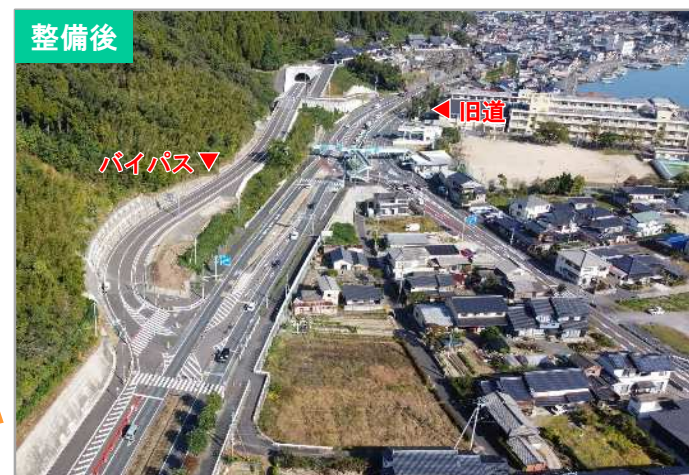
# 一般道路の整備

県が管理する道路は、令和4年4月1日時点で192路線、実延長1,659kmもの道路がありますが、慢性的な交通渋滞や幅員狭小、線形不良などにより、安全で円滑な通行に支障をきたしている区間が県内各地で存在します。

そのため、各々の支障箇所の状況にあわせて道路の拡幅、バイパス整備、線形の改良や交差点における右折車線の設置などを実施することにより、利用者が安心して通行できるような道路の整備に取り組んでいます。



一般国道204号（旧道）



一般国道204号 バイパス整備（唐津市）

# 交通安全対策

歩行者や自転車利用者の安全と円滑な自動車交通を確保するため、自転車道や歩道の整備、交差点改良等を促進しています。

主な取組として、事故が多発している交差点などの事故削減対策や「通学路の安全対策」として、歩道整備などを実施しています。

また、利用者の立場に立った系統的で分かり易い道路標識の設置や道路情報提供の充実によって、円滑な道路交通の実現に努めています。



一般県道牛津停車場線  
（小城市）



# 通学路の安全対策

背景

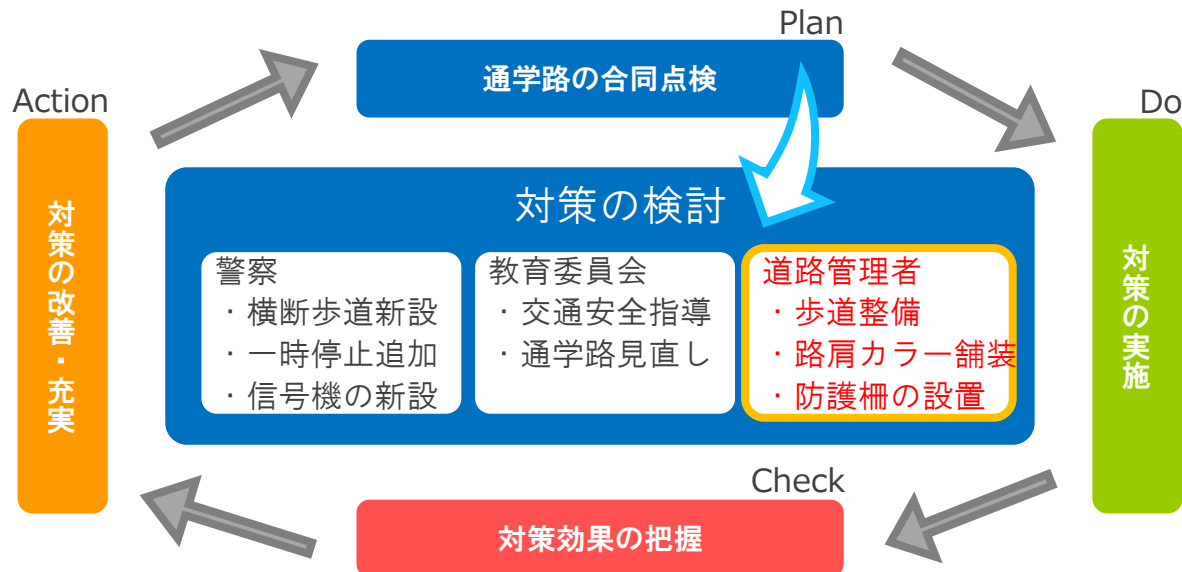
平成24年4月に京都府で発生した通学路における児童、保護者が犠牲となった事故を受け、文部科学省・国土交通省・警察庁が連携し、「通学路の緊急合同点検」を各小学校単位で実施した。今後も持続的に取り組むため、平成26年度に市町毎の「通学路交通安全プログラム」を策定した。

取組

「通学路交通安全プログラム」（市町策定）に基づき、定期的な合同点検や対策を実施する。  
また、対策効果の把握を行い、対策の改善・充実を図りながら継続的に通学路の交通安全を推進する。

効果

各小学校に適した対策案が策定され、より効率的な地域の交通安全対策が継続的に図られる。



## 道路管理者が実施する対策例

○歩道整備



○路肩カラー舗装



○防護柵の設置



# SAGA BLUE PROJECT

人口10万人当たりの人身交通事故発生件数が、いまだ全国ワーストレベルにあることを踏まえ、交通事故防止対策として、他県や国で実施された対策を参考に、『交差点のカラー化』『わかりやすい注意喚起』を行い、より一層の交通事故発生抑制の抑止対策に取り組んでいます。

また、交差点のカラー化というハードの取組に併せ、新たにデザインの力を活用した意識啓発や県民参加型のソフト対策を行い、交通事故の減少に向けた「SAGA BLUE PROJECT (SAGAブループロジェクト)」に取り組んでいます。



一般国道264号 田代二丁目交差点（佐賀市）

## 『交差点のカラー化』『わかりやすい注意喚起』の目的と効果

県管理道路において、過去発生した死傷事故件数などの指標に基づき抽出された対策箇所について、カラー舗装や文字、原則マークなどの路面表示や注意喚起看板を整備・管理することにより、ドライバーへの注意喚起を促し、交通事故の減少を図ります。

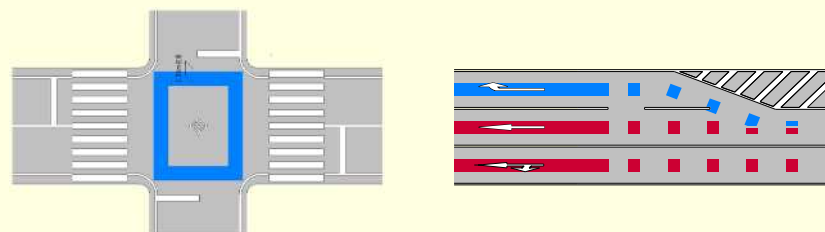
### 『交差点のカラー化』

- ▷ 『交差点内カラー化』を行うことで、ドライバーが交差点の存在に気づき、自動車の速度を落とすことが期待されます。
- ▷ 『交差点レーンのカラー化』を行うことで、交差点手前で進路を明確にし、急な右折等を抑えます。

### 『わかりやすい注意喚起』

- ▷ 単路部（直線区間）に『追突注意』等の路面標示や『事故危険箇所注意』等と標示した標識により注意喚起を行うことで、自動車の速度が落ちることが期待されます。

### ○『交差点のカラー化』施工イメージ



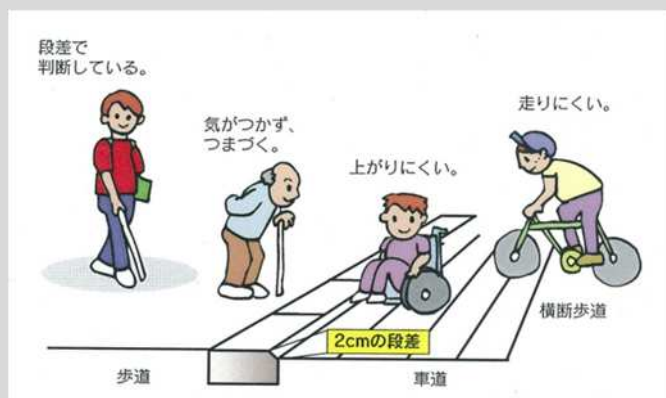
<施工例> 一般国道208号 佐大南交差点（佐賀市）

# 歩道のユニバーサルデザイン化

横断歩道部において、歩道と車道の上に設置されている歩道縁石は、歩道と車道の境界を明確にするため、2cmの段差をつけることで、視覚障害者の方が、その境界を認識しやすいようにしていました。

しかし、高齢者の方がつまづく、車椅子やベビーカーなどでスムーズに利用できないなどの意見が多く寄せられたため、歩道の段差のスロープ化や視覚障害者誘導用ブロックの設置など、ユニバーサルデザインを考慮した新たな標準仕様を作成し、すべての利用者が安心・安全で快適に通行できる歩道整備に取り組みます。

## 従来の歩道縁石



### <事例>

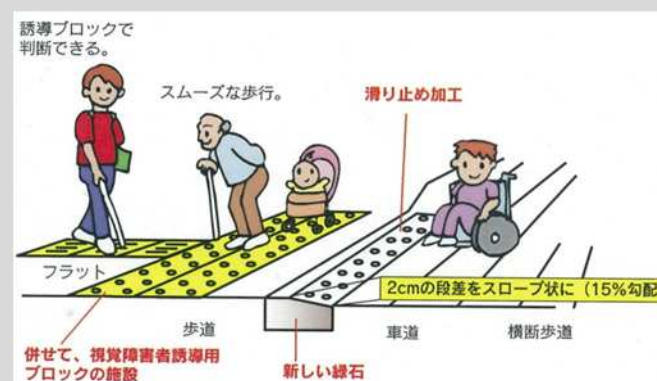
❌ 歩道縁石に2cmの段差がある

❌ 視覚障害者誘導用ブロックがない

❌ 側溝蓋の穴に、杖やハイヒールが挟まる



## 新しい歩道縁石



### <事例>

⊙ 歩道縁石形状の変更・スロープ化

⊙ 視覚障害者誘導用ブロックの設置

⊙ 側溝の改善  
・蓋の隙間を無くす  
・排水を良くする



# 道路の維持管理

道路はただ新しく整備するだけでなく、整備が終わり、供用を開始した後も道路機能を保持し、利用者が安全に利用できるよう、適切に維持管理を行っていくことが必要です。そのため定期的にパトロールを行い、適宜補修を行っています。

通常巡視

夜間巡視

休日巡視

特別巡視



※緊急巡視：台風接近時などの異常気象の際に、倒木や土砂崩れなどにより、通行に支障がないか確認するための巡視。

※特別巡視：通常巡視からでは把握しにくい細部の道路維持管理を目的とし、歩道有部は徒歩、歩道無部は巡視を行う。

道路の維持管理 <事例>



雪氷対策



小規模補修（現場打側溝蓋設置）

# 道路の防災対策

道路防災点検や大雨等の異常気象時の調査により、法面のクラックや土砂崩壊、落石等が確認されるなど、道路利用者の安全な通行に支障を及ぼす可能性がある箇所について、道路施設（道路法面等）の防災対策や老朽化対策を実施することにより災害を未然に防止し、道路の安全性・信頼性の向上を図ります。

道路法面对策 <整備事例>

整備前



整備後



落石対策 <整備事例>



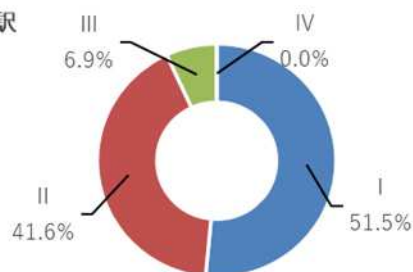
# 橋梁の維持管理

## 橋梁定期点検

道路橋については、道路法施行規則に基づき、5年に1回の頻度で近接目視による定期点検を実施しています。定期点検の目的は、橋梁の健全性を把握し、損傷の早期発見・早期対応により、常に良好な状態に保つことです。橋梁の健全性診断は、道路橋の機能に影響を及ぼすかの観点で4段階に区分されます。



判定区分の内訳  
(H26~H30)



区分	定義
I 健全	: 道路橋の機能に支障が生じていない状態。
II 予防保全段階	: 道路橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III 早期措置段階	: 道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV 緊急措置段階	: 道路橋の機能に支障が生じている、または生じる可能性が著しく高く、緊急に措置をすべき状態。

## 橋梁耐震化

緊急輸送道路を構成する道路橋については、近年発生している大規模地震を踏まえ、落橋・倒壊の防止対策に加えて、路面に大きな段差が生じないように、支承の補強や交換等を行い、橋としての機能を速やかに回復させることを目指した対策を今後加速させる必要があります。

県内の主要活断層で地震が発生した場合  
最大でマグニチュード7以上（震度6~7程度）  
となる恐れが・・・

橋梁の耐震化が急務

橋梁耐震化対策 実施事例

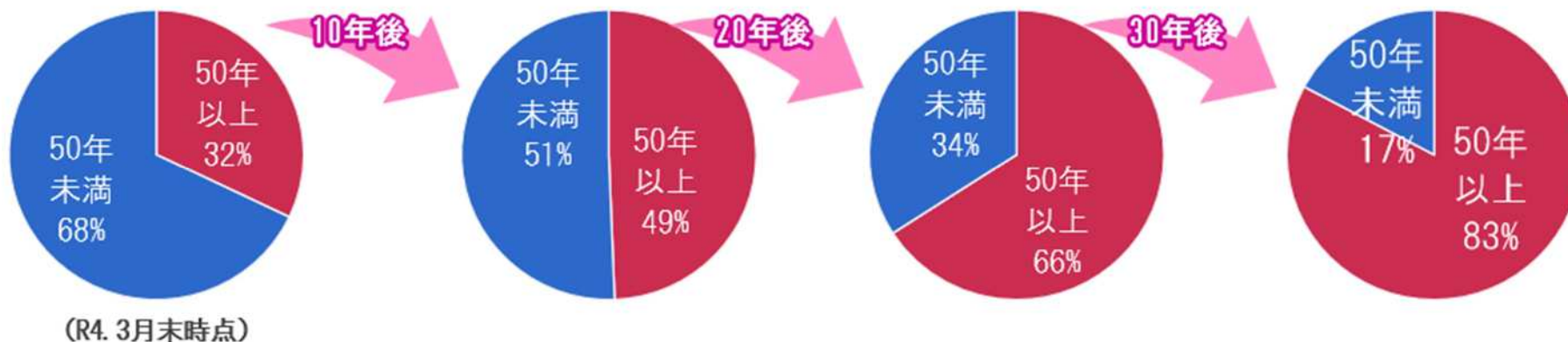




# 橋梁長寿命化修繕計画

## 進行する高齢化

橋齢50年を超える橋梁数は、現在の32%が、30年後に83%と加速的に増加します。



## 橋梁長寿命化修繕計画

橋梁長寿命化修繕計画は、県が管理する橋梁について、道路法に基づく定期的な点検を行い、橋梁の健全度を随時把握するとともに、その点検結果を反映して、損傷が小さい段階から小まめに補修を行うといった一連の取組の進め方をまとめた年次計画です。

この計画に基づき、適切に橋梁の点検と補修を行うことにより、橋梁の長寿命化と維持管理費の縮減、平準化を図ることが可能となり、効率的で信頼性の高い橋梁の維持管理を行うことができます。



<補修例> 六五郎橋（主要地方道 佐賀八女線）

# プロジェクトIF (佐賀県内水対策プロジェクト)

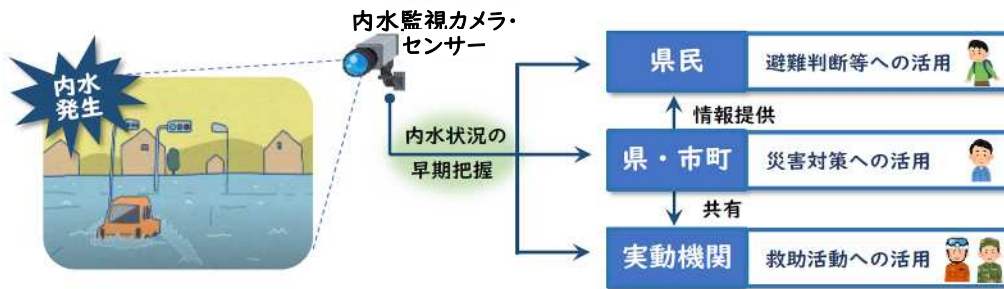
佐賀県武雄市や大町町等において、令和元年度の豪雨により内水氾濫の被害を受け、令和3年度には前回の発生からわずか2年で、再び同地域で内水氾濫の被害を受けました。

このような、近年多発する豪雨に対して、気候変動対応型の災害対策を行うため、令和3年9月に内水対策プロジェクト「プロジェクトIF (Inland water Flooding)」を立ち上げました。

プロジェクトIFにおける道路に関する取組として、内水状況の早期把握、実働機関との共有、県民への情報提供を行い、人命等を守るために、内水氾濫の恐れのある地域の道路に内水監視カメラや道路情報板等の設置を進めています。



令和3年度内水氾濫状況 (武雄市)



県が管理する道路の内水監視カメラの運用を開始することに伴い、同カメラで撮影した最新の道路状況 (ライブカメラ画像) を佐賀県ホームページで公開しています。

どなたでもパソコンやスマートフォン等からご覧いただけます。



内水監視カメラ



道路情報板



<https://www.pref.saga.lg.jp/bousai/kiji00386819/index.html>

佐賀県HP → 防災・減災さが → (防災関連情報) 交通・道路情報 → 県内道路のライブカメラ画像

※当該ウェブページに記載しているURLをクリックすると、県管理道路や国管理道路のライブカメラ画像を見ることができます。

# 有料道路

有料道路事業は、借入金によって道路を建設し、通行料金によって返済するもので、受益者負担の考え方に基づいています。通行料金は、一定期間内の料金収入で、道路の建設費、維持管理費、借入金利息など期間内のすべての支出を賄えるように決められています。

平成19年5月に鳥栖筑紫野有料道路、平成19年11月に国見有料道路、平成25年4月に二丈浜玉道路が料金徴収期間を終え、無料開放となりました。また、平成30年3月には九州横断自動車道長崎大分線において、小城スマートインターチェンジが開通し、現在、九州縦貫自動車道鹿児島線においては、「小郡鳥栖南スマートインターチェンジ」の整備が進められています。

## 佐賀県内の有料道路

有料道路 (ロードネーム)	路線名 (通称名)	延長(km) (県内)	R3センサ12時間 交通量(台)	事業主体
九州横断自動車道 長崎大分線	(長崎道、大分道)	257 (74.4)	21,443 <sup>1)</sup>	西日本高速道路 株式会社
九州縦貫自動車道 鹿児島線	(九州道)	428 (7.3)	72,666 <sup>2)</sup>	西日本高速道路 株式会社
西九州自動車道 (武雄佐世保道路)	国道497号	22.0 (4.9)	5,773 <sup>3)</sup>	西日本高速道路 株式会社
三瀬トンネル (やまびこロード)	国道263号	5.3 <sup>4)</sup> (2.1)	3,650	佐賀県道路公社
厳木多久道路 (ひまわりロード)	国道203号	3.6 (3.6)	2,695	佐賀県道路公社
東脊振トンネル (さざんかロード)	国道385号	2.2 <sup>5)</sup> (2.2)	2,351	佐賀県道路公社

注：1) 東脊振IC～佐賀大和IC間

2) 筑紫野IC～鳥栖JCT間

3) 武雄南IC～波佐見有田IC間

4) うち、トンネル延長2.4km

5) うち、トンネル延長1.4km



九州縦貫自動車道 小郡鳥栖南スマートIC (R6.3)

# 佐賀県の道の駅

佐賀県においては現在、10箇所が道の駅に登録されています。



- ・道の駅 鹿島（かしま）H6. 4
- ・道の駅 巖木（きゅうらぎ）H6. 8
- ・道の駅 伊万里（いまり）H7. 4
- ・道の駅 桃山天下市（ももやまてんかいち）H9. 4
- ・道の駅 山内（やまうち）H10. 4
- ・道の駅 大和（やまと）H14. 8
- ・道の駅 吉野ヶ里（よしのがり）H19. 3
- ・道の駅 太良（たら）H19. 3
- ・道の駅 しろいし R1. 6
- ・道の駅 うれしのまるく R4. 2

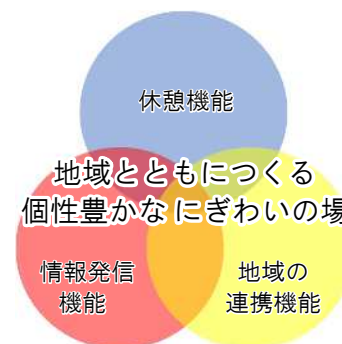
※年月は「道の駅」登録年月

## 道の駅とは

長期距離ドライブや女性、高齢者のドライバーが増加するなか、交通の円滑な流れを支えるため、一般道路にも安心して利用できる休憩施設の整備が求められています。

また、休憩施設では、地域の文化・名所特産品などを活用し多様なサービスを提供することが望まれています。これらの施設ができることで、地域の核が形成され、道を介した地域連携が促進されるなどの効果も期待されます。

こうしたことを背景として、道路利用者のための「休憩機能」、道路利用者や地域の方々のための「情報発信機能」、そして道の駅をきっかけに町と町とが手を結び活力ある地域づくりをともに行うための「地域の連携機能」、の3つの機能を併せ持つ休憩施設道の駅が誕生しました。



# 道路の利活用

心地良く

歩きたくなる取組

SAGAサンライズパーク



サンライズストリート

R5年3月ほこみち指定



佐賀駅前交流広場(佐賀城口)



くすかぜ広場 ARKS



佐賀城公園 こころざしのもり

歩こう。  
佐賀県。

SAGA  
TOCO

KIZUKI  
project 価値に気づき  
まちを築く



サンライズストリート整備 (歩道空間高質化)



公共空間の活用 (社会実験)

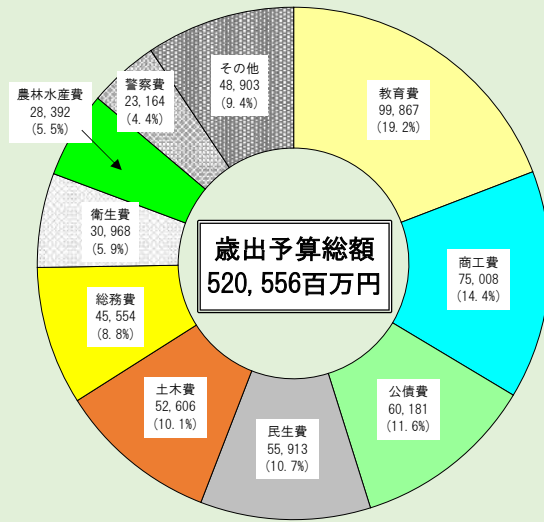
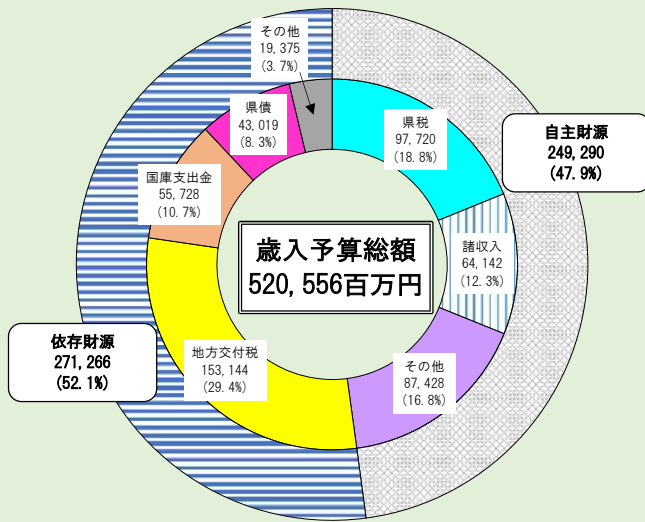


# 道路の予算

佐賀県の令和6年度一般会計予算（令和6年当初予算）は約5,206億円です。このうち土木費は約526億円で歳出予算総額の約10%を占めています。また土木費のうち道路橋りょう費は約262億円で土木関係予算の約50%を占めています。道路橋りょう費は平成7年度をピークに徐々に減少しており、近年はピーク時の約4割程度の水準となっています。

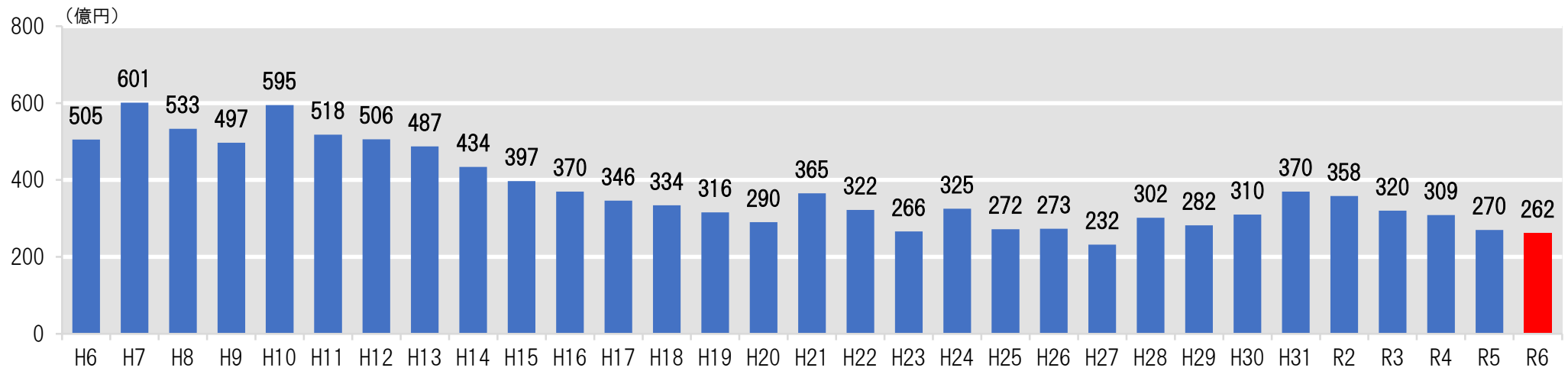
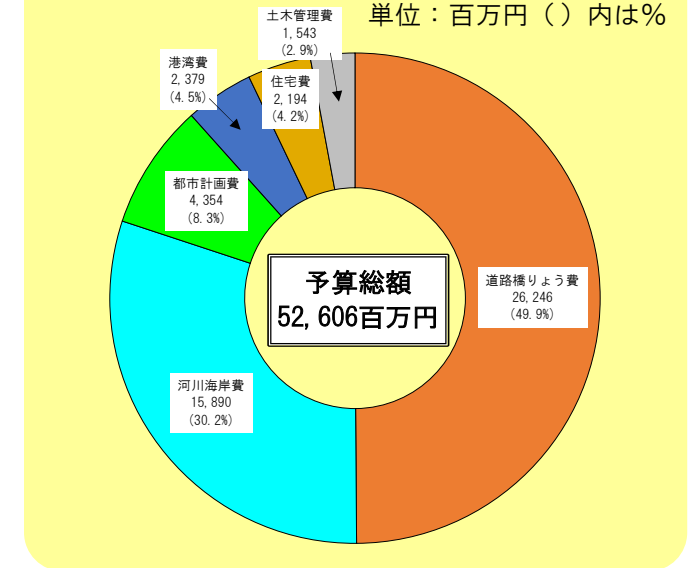
令和6年度 佐賀県一般会計予算

単位：百万円（）内は%



令和6年度 土木関係予算

単位：百万円（）内は%



▲ 道路橋りょう費の推移 (R5までは最終予算額)

# 佐賀県の橋梁とトンネル

## 佐賀県の長大橋ベスト10（高規格道路以外）

	橋名	路線名	橋長(m)	所在地	管理者
1	鷹島肥前大橋	鷹島肥前線	1,251.0	唐津市 長崎県松浦市	佐賀県 長崎県
2	武雄高架橋	一般国道34号	1,001.2	武雄市	国土交通省
3	呼子大橋	市道 呼子大橋線	728.0	唐津市	唐津市
4	川副大橋	大託間光法停車場線	695.0	佐賀市	佐賀県
5	佐留志高架橋	一般国道34号	657.0	江北町	国土交通省
6	嘉瀬川大橋	一般国道34号	515.8	佐賀市 小城市	国土交通省
7	早津江橋	大牟田川副線	510.0	佐賀市 福岡県大川市	佐賀県 福岡県
8	松浦橋	虹の松原線	496.0	唐津市	佐賀県
9	六五郎橋	佐賀八女線	450.0	神埼市 福岡県久留米市	佐賀県 福岡県
10	青木中津大橋	一般国道385号	392.0	吉野ヶ里町 福岡県那珂川町	佐賀県 福岡県

## 佐賀県の長大橋ベスト5（高規格道路のみ）

	橋名	路線名	橋長(m)	所在地	管理者
1	片白高架橋	九州横断自動車道	1,568.5 1,576.1	武雄市	西日本高速道路 株式会社
2	北方高架橋	九州横断自動車道	1,108.5 1,108.2	武雄市	西日本高速道路 株式会社
3	六角川大橋	一般国道444号 有明海沿岸道路	982.0	小城市 杵島郡白石町	佐賀県
4	有明早津江川大橋	一般国道444号 有明海沿岸道路	854.0	佐賀市 福岡県大川市	国土交通省
5	半田高架橋	西九州自動車道	825.0	唐津市	国土交通省

※上段（上り線）下段（下り線）

## 佐賀県の長大トンネルベスト10（高規格道路以外）

	トンネル名	路線名	トンネル長(m)	所在地	管理者
1	三瀬トンネル	一般国道263号	2,407.0	佐賀市 福岡県福岡市	佐賀県道路公社
2	平谷黒木トンネル	一般国道444号	1,889.0	鹿島市 長崎県大村市	佐賀県 長崎県
3	東脊振トンネル	一般国道385号	1,411.0	吉野ヶ里町	佐賀県道路公社
4	女山トンネル	多久若木線	1,259.0	多久市 武雄市	佐賀県
5	国見トンネル	一般国道498号	955.0	有田町 長崎県佐世保市	佐賀県 長崎県
6	鳥越トンネル	鹿島嬉野線	604.0	嬉野市	佐賀県
NEW ランクイン	7 唐房トンネル	一般国道204号	487.0	唐津市	佐賀県
8	野々平トンネル	市道 厳木ダム線	449.0	唐津市	唐津市
9	馬神トンネル	武雄多久線	440.0	武雄市	佐賀県
10	赤穂山トンネル	武雄伊万里線	415.0	武雄市	佐賀県

## 佐賀県の長大トンネルベスト5（高規格道路のみ）

	トンネル名	路線名	トンネル長(m)	所在地	管理者
1	俵坂トンネル	九州横断自動車道	2,650.0 2,609.0	嬉野市 長崎県東彼杵町	西日本高速道路 株式会社
2	不動山トンネル	九州横断自動車道	2,043.0 2,006.0	嬉野市	西日本高速道路 株式会社
3	杵島トンネル	九州横断自動車道	1,166.5 1,194.5	武雄市	国土交通省
4	北波多トンネル	西九州自動車道	957.0	唐津市	国土交通省
5	養母田トンネル	西九州自動車道	729.0	唐津市	国土交通省

※上段（上り線）下段（下り線）

## 《道路に関するお問い合わせ》

九州自動車道、長崎自動車道、武雄・佐世保道路について  
 西日本高速道路株式会社佐賀高速道路事務所 TEL 0952-62-5121  
 西日本高速道路株式会社久留米高速道路事務所 TEL 0942-43-4612  
 西日本高速道路株式会社長崎高速道路事務所 TEL 0957-26-0011  
 三瀬トンネル、厳木多久道路、東脊振トンネルについて  
 佐賀県道路公社 TEL 0952-20-2040  
 佐賀県道路課 TEL 0952-25-7155・7156  
 国道3号、34号、35号、202号、203号、208号（佐賀環状線を除く）、497号について  
 国土交通省佐賀国道事務所 TEL 0952-32-1151  
 国道208号「有明海沿岸道路（大川佐賀道路）」について  
 国土交通省有明海沿岸国道事務所 TEL 0944-74-2930  
 その他の国道、県道について  
 佐賀県道路課 TEL 0952-25-7155・7156  
 （他現地機関） TEL 右記参照

## 現地機関連絡先

佐賀土木事務所 TEL 0952-24-4345  
 東部土木事務所 TEL 0942-83-4176  
 唐津土木事務所 TEL 0955-73-2861  
 伊万里土木事務所 TEL 0955-23-4151  
 杵藤土木事務所 TEL 0954-22-4184  
 有明海沿岸道路整備事務所 TEL 0952-66-0912

道の相談室 九州管内 TEL 092-672-5614  
 土・日・祝祭日を除く（9:30～17:00）  
 ※緊急通報（24時間受付） #9910

佐賀地区 TEL 0952-29-2511  
 土・日・祝祭日を除く（8:30～17:15）



佐賀県県土整備部道路課

〒840-8570 佐賀市城内1-1-59 TEL 0952-25-7155

佐賀県ホームページアドレス <http://www.pref.saga.lg.jp/>  
 メールアドレス（道路課） [douro@pref.saga.lg.jp](mailto:douro@pref.saga.lg.jp)